

中里 敬（なかさとたかし）氏

卒業年：平成 13 年 3 月 専攻：果樹 住所：二戸市



1 現在の経営概要

りんご 5.0ha、ブルーベリー 80a

2 経営での担当部門、取組状況、経営の特徴など

農大を卒業後、岩手県農業研究センターの臨時職員勤務を経て就農。

りんご、ブルーベリーは父親の代から始めたものですが、自分なりにどうすれば経営が発展するか考え、父親とは異なった 6 次化の方向を現在も模索しています。ブルーベリーを真空低温濃縮法という方法で火を使わずに、果実の香りや味を落とすことなく加工、うまさを凝縮した「ブルーベリーのここと煮」を商品化。りんごも同じ手法で「林檎のころころ煮」も商品化。このほかりんごのドライフルーツなどさまざまな商品化に取り組んでいます。商品化で難しいところは、イメージ通りにならないこと。商品開発にあたっては、加工業者やアドバイザー、小売業者の方々も交えて、試食していただきこれでいけるといったものが商品となりますが、なかなか商品化への道も簡単にはいかないものです。

3 就農しているなかでの苦労、良かったこと

- 就農してみて、会計処理も全て私が行っているが、売り上げが思うように利益につながっていないことがわかりました。利益アップの難しさがあります。
- 就農して良かったことは、色々な人と出会えることです。りんごやブルーベリーの商品開発の過程ではいろいろな方に御世話になり、また、これらの取組みを通じて、人とのつながりが広がりました。沖縄のレモンと私のりんごを使ったコラボ商品もその一つです。

4 農大での学生生活（役に立っていること、もっと勉強しておけばよかったこと、思い出など）

- クラスメイトとのつながり、ネットワークは今でも役に立っています。
- 農大でもっと勉強しておけば良かったことは、いろいろありますが、病害虫防除、土壌関係については、就農してから特に感じるどころです。

5 将来の夢、目標

二戸市は農業が中心産業になっており、それらの農業を担っているという誇りを持ち、他産業にも負けない「農家」として評価されるように頑張りたい。また、若い人の雇用などを通じて地域への恩返しもしたい。

6 在校生への激励メッセージ

学生時代はいろいろと遊んだ方がいいです。就農すると忙しくて遊ぶ暇がありません。

専門知識やほかのことも含め広く勉強すること、ネットワークづくりも就農する上では重要です。

7 HP、ブログ、Facebook の有無

「権七園」(屋号) の Facebook あります。

8 取材後記（取材職員記入）

7 年前にも一度学生と一緒に訪問させていただきましたが、現在は結婚し、子供さんも 3 人おり、また、経営者としても一段とたくましくなっているように感じました。加工部門は敬さんが就農してから本格的に始めたもので、消費者のニーズやターゲットを絞り込み、他商品とは異なった差別化も必要ということで、いろいろ苦労もあるようです。まさに今後の農業者に必要な「マーケットイン」という考え方がすっかりなじんでいるようです。今後の二戸の果樹振興を引っ張っていく担い手として期待しています。

